

基準	大分類	中分類	細目	判定		主な根拠資料 (5項目程度)	収集・蓄積場所	担当部署	備考 (コメント)
				Yes	No				
基準8 専攻科課程 の教育活動 の状況	8-1 専攻科課程のカリキュラム・ポリシーに基づき、教育課程が体系的に編成され、専攻科課程としてふさわしい授業形態、学習指導法等が採用され、適切な研究指導等が行われていること。また、専攻科課程のカリキュラム・ポリシー並びにディプロマ・ポリシーに基づき、成績評価・単位認定及び修了認定が適切に行われており、有効なものとなっていること。	8-1-1 カリキュラム・ポリシーに基づき、授業科目が適切に配置され、教育課程が体系的に編成されているか。	(1) CPを踏まえて、適切な授業科目を体系的に配置しているか。	○		教務手帳P.65-68 学生便覧P.23-26	教務手帳 学生便覧		
		8-1-2 準学士課程の教育との連携、及び準学士課程の教育からの発展等を考慮した教育課程となっているか。	(1) 専攻科課程の教育課程は、準学士課程の教育との連携、及び準学士課程の教育からの発展等を考慮した教育課程となっているか。	○		教務手帳P.50 第29条 学生便覧P.10 第29条	教務手帳 学生便覧		
		8-1-3 カリキュラム・ポリシーに照らして、講義、演習、実験、実習等の授業形態のバランスが適切であり、それぞれの教育内容に応じた適切な学習指導上の工夫がなされているか。	(1) CPに照らして、講義、演習、実験、実習等の適切な授業形態が採用されているか。	○		教務手帳P.121 第2条 学生便覧P.74 第2条	教務手帳 学生便覧		
			(2) 教育内容に応じて学習指導上の工夫をしているか。	○		2019年度専攻科シラバス	シラバス		
		8-1-4 カリキュラム・ポリシーに基づき、教養教育や研究指導が適切に行われているか。	(1) 学生への教養教育や研究指導を、適切に行っているか。	○		専攻科教育課程表 2019年度時間割表 特別研究Ⅰ報告会 特別研究Ⅱ報告会	学生便覧 全学生、全教員に配 専攻科委員会 専攻科委員会		
		8-1-5 成績評価・単位認定基準が、カリキュラム・ポリシーに従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、成績評価・単位認定が適切に実施されているか。	(1) 成績評価や単位認定に関する基準を、CPに基づき、策定しているか。	○		教務手帳P.122 第7条 学生便覧P74 第7条	教務手帳 学生便覧		
			(2) 成績評価や単位認定に関する基準に基づき、各授業科目の単位認定等を行っているか。	○		教務手帳P.122 第8条 学生便覧P.75 第8条 専攻科委員会会議資料(成績認定) 専攻科会議資料(成績認定)	教務手帳 学生便覧 会議・委員会議事要 会議・委員会議事要		
			(3) 学修単位科目を配置している場合、授業時間以外の学修についての評価がシラバス記載どおりに行われていることを学校として把握しているか。	○		教務委員会 FD委員会 専攻科委員会 認証評価用試験問題ファイル	会議・委員会議事要 会議・委員会議事要 会議・委員会議事要 エビデンス保管庫		自学自習時間について学生に回答してもらうようにする。(授業アンケート等を用いて)
			(4) 成績評価や単位認定に関する基準を学生に周知しているか。	○		2019年度シラバス	シラバス		
			(5) 成績評価や単位認定に関する基準の学生への周知状況を学校として把握しているか。	○					成績評価や単位認定に関する基準が周知されているか学生に回答してもらうようにする。(授業アンケート等を用いて)
			(6) 追試、再試の成績評価方法を定めているか。	○		教務手帳P.122 第6条 学生便覧P74 第6条 教務手帳P.122 第8条の2 学生便覧P.75 第8条の2	教務手帳 学生便覧 教務手帳 学生便覧		
			(7) 成績評価結果に関する学生からの意見申立の機会があるか。	○		教務手帳P.33-34 授業日一覧	教務手帳		
			(8) 成績評価の客観性、厳格性を担保するため組織的な措置を行っているか。	○		専攻科委員会会議資料(成績認定) 専攻科会議資料(成績認定) 教務委員会 FD委員会 専攻科委員会	会議・委員会議事要 会議・委員会議事要 会議・委員会議事要 会議・委員会議事要 会議・委員会議事要		
		8-1-6 修了認定基準が、ディプロマ・ポリシーに従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、修了認定が適切に実施されているか。	(1) 学則等に、修業年限を1年以上と定めているか。	○		教務手帳p.50 第33条 学生便覧p.11 第33条	教務手帳 学生便覧		専攻科委員会
			(2) DPIに基づき、修了認定基準を定めているか。	○		教務手帳p.22~26 (DPと科目対応表) 教務手帳p.122 第10条 学生便覧p.11 第36条	教務手帳 教務手帳 学生便覧		

基準	大分類	中分類	細目	判定		主な根拠資料（5項目程度）	収集・蓄積場所	担当部署	備考（コメント）
				Yes	No				
			(3) 修了認定基準に基づき、修了認定しているか。	○		専攻科委員会会議資料(成績認定) 専攻科会議資料(成績認定)	会議・委員会議事要 会議・委員会議事要		
			(4) 修了認定基準を学生に周知しているか。	○		学生便覧p.11 第36条 専攻科始業式ガイダンス資料	学生便覧 会議・委員会議事要		
			(5) 修了認定基準の学生への周知状況を学校として把握しているか。	○		専攻科始業式ガイダンス時に説明 学位特例申請書類確認作業時に確認	会議・委員会議事要 会議・委員会議事要		
8-2	専攻科課程としてのアドミッション・ポリシーに沿って適切に運用されており、適正な数の入学状況であること。	8-2-1 アドミッション・ポリシーに沿って適切な入学選抜方法が採用されており、実際の学生の受入れが適切に実施されているか。	(1) AP, 特に入学選抜の基本方針に沿った入学選抜方法となっているか。	○		専攻科学生募集要項 専攻科入学選抜要領 専攻科入学選抜面接試験実施用 専攻科入学試験問題作成マニュアルp.1	入試係 入試係 入試係 入試係		学生募集の方針、選抜区分（学力選抜、推薦選抜等）、面接内容、配点・出題方針等
		8-2-2 アドミッション・ポリシーに沿った学生を受入れているかどうかを検証するための取組が行われており、その結果を入学選抜の改善に役立っているか。	(1) 検証及び検証結果を改善に役立てる体制を整備しているか。	○					専攻科委員会の中でアドミッションポリシーと入学選抜をPDCAを回す仕組みをつくる。
			(2) 実際に入学した学生が、APIに沿っているかどうかの検証を行っているか。	○					専攻科委員会の中でアドミッションポリシーと入学選抜をPDCAを回す仕組みをつくり、検証する。
			(3) その検証結果を入学選抜の改善に役立っているか。	○					専攻科委員会の中でアドミッションポリシーと入学選抜をPDCAを回す仕組みをつくり、検証結果を改善に役立てる。
		8-2-3 実入学数、入学定員を大幅に超過、又は大幅に不足している状況になっていないか。また、その場合には、入学選抜方法を改善するための取組が行われるなど、入学定員と実入学数との関係の適正化が図られているか。	(1) 学生定員を専攻ごとに学則などで定めているか。	○		平成31年度学生便覧p.10 2020年度専攻科学生募集要項p.2	学生便覧 入試係		
			(2) 専攻ごとの入学定員と実入学数との関係を把握し、改善を図るための体制を整備しているか。	○		専攻科委員会	会議・委員会議事要		
			(3) 過去5年間の専攻ごとの入学定員に対する実入学数が適正であるか。	○		福島工業高等専門学校要覧	学校要覧		
			(4) 過去5年間で、実入学数が、入学定員を大幅に超過、又は大幅に不足している状況にあった場合は、改善の取組を行っているか。						
8-3	ディプロマ・ポリシーに照らして、学習・教育・研究の成果が認められること。	8-3-1 成績評価・修了認定の結果から判断して、ディプロマ・ポリシーに沿った学習・教育・研究の成果が認められるか。	(1) 学生が修了時に身に付ける学力、資質・能力について、成績評価・修了認定の結果から学習・教育・研究の成果を把握・評価するための体制を整備しているか。	○		専攻科会議規則（規則集2-21） 専攻科委員会規則（規則集3-7） 組織規則（規則集2-1）	規則集 規則集 規則集		DPの項目ごとに達成状況を把握・評価するEXCEL表を作成し、無作為にクラス数名程度の成績を入力する。この結果にて達成状況を把握する。これは改善・改革策定専門部会で実施する。（評価改善）
			(2) 学生の修了時に身に付ける学力、資質・能力について、成績評価・修了認定の結果から学習・教育・研究の成果を把握・評価しているか。	○		専攻科会議資料 専攻科委員会資料 専攻科打合せ会資料 教務手帳（DPとの対応表）	会議・委員会議事要 会議・委員会議事要 会議・委員会議事要 教務手帳		
			(3) それらの結果から学習・教育・研究の成果が認められるか。	○		専攻科会議資料 専攻科委員会資料 専攻科打合せ会資料 教務手帳（DPとの対応表）	会議・委員会議事要 会議・委員会議事要 会議・委員会議事要 教務手帳		DPの項目ごとに達成状況を把握・評価するEXCEL表を作成し、無作為にクラス数名程度の成績を入力する。この結果にて達成状況を把握する。これは改善・改革策定専門部会で実施する。（評価改善）
		8-3-2	学生が修了時に身に付ける学力、資質・能力			アンケート結果	会議・委員会議事要		

基準	大分類	中分類	細目	判定		主な根拠資料 (5項目程度)	収集・蓄積場所	担当部署	備考 (コメント)
				Yes	No				
		達成状況に関する学生・修了生・進路先関係者等からの意見の聴取の結果から判断して、ディプロマ・ポリシーに沿った学習・教育・研究の成果が認められるか。	(1) について、学生・修了生・進路先関係者等からの意見聴取の結果に基づいて学習・教育・研究の成果を把握・評価するための体制を整備しているか。	○				専攻科委員会	
	(2) 学生が修了時に身に付けた学力、資質・能力について、修了時の学生に対する意見聴取の結果から学習・教育・研究の成果の把握・評価を行っているか。			○					修了学生に対して、学習達成度評価を実施していないので、今後これを実施する。(専攻科)
	(3) 学生が修了時に身に付けた学力、資質・能力について、修了生(修了直後でないもの)に対する意見聴取の結果から学習・教育・研究の成果の把握・評価を行っているか。		○		アンケート結果	会議・委員会議事要			修了生に対するアンケートを行っていないので、今年度末に修了生へのアンケートを行い、その結果をまとめて学習・教育の成果を評価する。(評価改善)
	(4) 学生が修了時に身に付けた学力、資質・能力について、進路先関係者等に対する意見聴取の結果から学習・教育・研究の成果の把握・評価を行っているか。		○		アンケート結果	会議・委員会議事要			
	(5) これらの評価結果から、学習・教育・研究の成果が認められるか。			○					修了学生に対して学習達成度評価を行い、これらを用いて学習・教育・研究の成果を判断できるようにする。(専攻科)
	8-3-3 就職や進学といった修了後の進路の状況等の実績から判断して、学習・教育・研究の成果が認められるか。	(1) 学校として把握している最近5年間の就職率及び進学率から判断して学習・教育・研究の成果が認められるか。	○		学校要覧pp.59-61 後援会総会配布資料	学校要覧 総務係		修了生に対するアンケートを行っていないので、今年度末に修了生へのアンケートを行い、その結果をまとめて学習・教育の成果	
		(2) 学校として把握している就職先や進学先は、各専攻の養成しようとする人材像に適したものであるか。	○		学校要覧pp.59-61 後援会総会配布資料	学校要覧 総務係			
	8-3-4 修了生の学位取得状況から判断して、学習・教育・研究の成果が認められるか。	(1) 過去5年間の修了生の学位取得の状況から、学習等の成果が認められるか。	○		学位授与機構からの学位取得一覧資料	教務係			